

「飛べ！水ロケット！」



水ロケットが飛ぶ距離に、水の量は関係あるのだろうか。

5/10 時間

水も空気と同じで多い方が飛ぶはずだと思う。

200mLが一番飛ぶと思う。

水が多すぎると空気が入らなくなるなあ。

250mLが一番飛んだ！



予想どおり、真ん中の量が一番飛んだね。

水の力は空気とは違うみたいだ。

ぼくたちは真ん中の量が一番飛んだね。

水は多くても、遠くに飛ぶわけではなさそうだ。



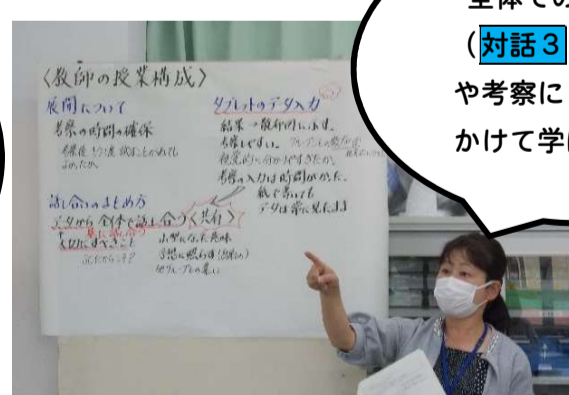
水の量が多すぎると、水をすべて外に出しきれず、ペットボトル内に残ってしまったと思います。

水の量が少なすぎると、空気の力は残っているのに、押し出す水が足りないと思います。また、350mL以上の容器ならば、結果はまた違うと思います。



グループでの話し合い(対話2)で、データやグラフを基に話し合う力をもっとつけさせたい。

全体での話し合い(対話3)での共有や考察に、時間をかけて学ばせたい。



研究協議会

講師：文部科学省初等中等教育局
教育課程課 教科調査官
鳴川 哲也 先生

タブレット端末の活用とノートでも考える活動の、合わせ技も必要である。

